

Edu[★]lution

令和5年度千葉県教育庁教育振興部
学習指導課ICT教育推進室発行
GIGAスクール通信 vol.10 (R5.8.2)

教育 (Education) × 進化 (Evolution) の造語
「ICT」を効果的に活用することで、
教育の次なるステップを目指しましょう。

船橋市立二宮小学校におけるICTを活用した授業実践

船橋市立二宮小学校は、船橋市教育委員会の指定を受け、「ICTを活用した学びの実現」を研究課題とし、令和3年度から慣れる(R3)、深める(R4)、活かす(R5)と段階的に研究を進めてきました。令和4年度には、情報活用能力を育成するため、「情報活用能力ベーシック」を活用し、**カリキュラム編成「二宮プラン」**を作成しました。

令和5年度は、情報活用能力を生かした教科横断的で創造性を育むような学びを目指して取組を進めています。授業や取組の様子を紹介します。

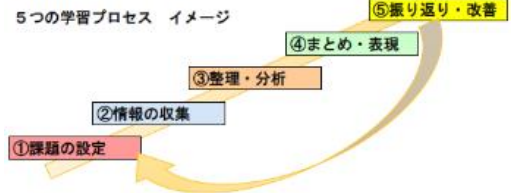
研究の経過・計画

船橋市教育委員会研究指定校 (情報教育)
研究課題 ICTを活用した学びの実現
研究期間 令和3年度～令和5年度



「情報活用能力ベーシック」の視点からのカリキュラム編成

情報活用能力ベーシック
5つの学習プロセス イメージ



(1)カリキュラム編成「二宮プラン」

年間指導計画表 4年

| | 課題の設定 | 情報の収集 | 整理・分析 | まとめ・表現 | 振り返り・改善 | |
|----|--|--|--|--|---|---|
| 時 | 4月 | 時 5月 | 時 6月 | 時 7月 | 時 9月 | 時 10月 |
| 国語 | 2 わたしは、だあれ 2 春のうた／あり 10 白いぼうし④ 4 ぴったりの言葉、見つけよう 2 漢字の広場 ① 漢字の部首 | 2 漢字の広場 ① 三年生で学んだ漢字 ① 2 ぞうの重さを量る 10 花を見つけた手がかり 4 分類をもとに本を見つけてよう① 2 メモの取り方をくふうして聞こう | 1 メモの取り方をくふうして聞こう 2 漢字辞典の引き方 10 リーフレットで知らせよう③ 4 短歌の世界 2 漢字の広場 ② 漢字の音を教す部分 1 漢字の広場 ③ 三年生で学んだ漢字 ② | 1 漢字の広場 ② 三年生で学んだ漢字 ② 10 ぞろぞろ(落語)⑤ 1 「夏の思い出」記者になろう 6 写真をもとに話そう④ 3 新聞を作ろう | 2 新聞を作ろう① 2 漢字の広場 ③ 送りがなのつけ方 1 漢字の広場 ④ 都道府県に似る漢字 2 漢字の広場 ⑤ 三年生で学んだ漢字 9 一つの花 2 いろいろな手紙を書こう 2 修飾語 1 「ショートショート」を書こう | 5 「ショートショート」を書こう 1 「月」のつく言葉 8 ごんぎつね 5 「読書発表会」をしよう④ |
| 書写 | 1 はじめの学習/点画の種類 1 点画の筆使い | 1 点画の筆使い 1 レッツ・トライ(発表しりょう) 1 筆順と字形 | 1 筆順と字形 1 こう筆の学習 筆順と字形 1 ひらがなの筆使い | 1 ひらがなの筆使い 1 レッツ・トライ(ノート) | 1 レッツ・トライ(はがき) 2 文字の組み立て方(左右) | 2 文字の組み立て方(上下) 1 文字の組み立て方(選たく) |
| 社会 | 1 導入 3 地図帳の使い方① | 5 日本の都道府県 8 千葉県の様子① | 8 千葉県の様子 | 1 導入 7 くらしと水道② | 14 ごみのしよりと利用⑤ | 1 導入 7 地しんからくらしを守る③ |

全学年で作成

5つの学習プロセス

- ① 課題の設定
- ② 情報の収集
- ③ 整理・分析
- ④ まとめ・表現
- ⑤ 振り返り・改善

「情報活用能力ベーシック」とは

基本となる5つの学習プロセスに各教科の特徴をふまえ情報活用能力を位置づけた観点です。

5つの学習プロセス及び13のキーワードから構成され、各教科、領域の学習内容に適用できることを示しています。

「二宮プラン」を作成

二宮小学校では、カリキュラム編成に「情報活用能力ベーシック」の視点を取り入れ、全学年のカリキュラムに5つの学習プロセスを設定し、情報活用能力の育成に計画的、体系的に取り組んでいます。

【育成する情報活用能力】③整理・分析

研究実践 (第4学年) 社会科「地しんからくらしを守る」

位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などに着目して社会的事象を捉え、どのような違いや共通点があるか比較・分類したり総合したり、どのような役割を果たしているか地域の人人や国民の生活と関連付けたりする方法で、考えたり選択・判断したりする。



(2)授業でのICT活用の様子



③整理・分析



他の児童の学習の様子をリアルタイムに、一覧で閲覧できます。



④まとめ・表現

【1年生 生活科】

児童はアサガオの前と今の写真を見比べ、成長して変化したところに丸印を付けていました。また、児童はクラウド上に共有された、他の児童の学習の様子をリアルタイムで参照し、自らの学習を調整していました。(他者参照)

【5年生 理科】

児童はメダカのとまごの様子を観察し、写真や動画に、記録しました。次に児童は、写真や動画を電子黒板に映し、観察して気づいた点について、班ごとに学級全体に向けて発表しました。

【他者参照とは】

児童が、「自分で取り組む」場面で、他の児童の学習の様子を参照することで、自らの学習を調整することができる。

- ・友達の考えを取り入れ、自分の考えを発展させたり、理解をさらに深めたりする。
- ・友達の考えをもとに、自分の考えを修正する。

【デジタルのメリット】

- ・写真データで記録に残し整理することで、メダカのとまごの変化を比較しやすくなる。
- ・動画データで記録に残すことでとまごの中でメダカが成長して、動く様子がよく分かる。



③整理・分析



マイク付きヘッドホン

家庭とオンラインで繋がっている端末

【4年生 社会科】

児童は、地震発生時の避難の際、必要な配慮や行動について調べ、端末を使って整理しました。次に児童は各自で整理したことをグループ内で見せ合って意見交換していました。

Web会議アプリを活用し、家庭からオンラインで授業に参加する様子も見られました。

(3)二宮小学校が目指すICTの活用



船橋市立二宮小学校
中野 誠 校長

本校のICTとの大きな出会いは、令和2年、市内第一号のコロナ臨時休校になったときです。鳴りやまない電話、問い合わせのメール、厳しい言葉を投げかけられることが多く、電話を切った後につらくて涙を流す職員がいたほどです。そんな中で思いついたのが「オンライン授業の実施」でした。もともと教師とは、逆境の中で創意工夫を得意とする集団ですから、この未知の取り組みの準備を驚く速さで進め、休校の翌日にはオンライン授業を実現させました。これがマスコミにも取り上げられました。そして翌年、多くの教育関係者の予想通り、本校は船橋市教育委員会の情報教育研究指定校となりました。

GIGAスクール元年と言われた令和3年の4月、始業式で子供たちに「タブレットの研究者になろう」と話し、本校の研究が始まりました。初年度を「慣れる」、2年目は「深める」、そして3年目となる本年度は「活かす」ことを目標に研究を進めています。研究最終年度として具体的に以下の3つについて**重点目標**としています。

(1)ICT機器活用による**授業の変容と再定義**

千葉県学校教育情報化推進計画による目指す姿、「学び方改革」と「教え方改革」を、本校では授業の再構築と考え、教科横断的で創造性を育むような学びの実現を目指します。

(2)子供の学びを止めない**遠隔教育の推進**

臨時休校以来のオンライン授業、授業のオンライン配信の実績を生かし、これまで感染症に係る欠席のみに対応していた遠隔教育を、不登校児を含むすべての希望者に対して行っています。

(3)**特別支援教育における効果的な活用**の研究

視覚的な学習支援をはじめ、多様な教材を提供することで効果的な学習環境を整えていきます。また、言語障害通級指導教室では学習内容によって、自校からオンラインで参加できるようにしています。

今後も、進化し続けるICTを活用し、教育の可能性を広げていく研究を目指します。